



(一社) 日本歯車工業会 議事録

会議名	開催日時・場所
平成 29 年度 第 6 回理事会	H30. 3. 16 (金) 13:00~15:30/東京:機械振興会館 5 階 5S-1 会議室
出席者 (敬称略)	<p>(会長) 柴野隆 (副会長) 松波俊宣、植田昌克、小原敏治 (理事) 猪村美之、高橋丈助、山梶直樹 吉岡功二、加納孝樹、植草雄一郎、池滝重隆、寶角幸彦、辻勇、井田斉昭、大久保利彦、田中文彦 (監事) 小松滋 矢都木力 (オブザーバー) 阿部義和 (来賓) (経産省 産業機械課 課長補佐) 工藤 勉 (経済産業省 製造産業局 産業機械課 部品・一般産業機械二係長) 阿部利恵 (事務局) 本島浩美、田中克弘 以上 23 名出席 (理事 16 名、監事 2 名、来賓 2 名、オブザーバー 1 名、事務局 2 名)</p>
<b>議 事</b>	
<p>理事定数 25 名のところ出席理事 16 名、定款第 36 条に定める理事の過半数の出席により本理事会が成立している旨報告があった。定款第 39 条に基づき柴野会長、小松監事を議事録署名人に選任し、議長に柴野会長が就任の上、下記議事を進行した。</p>	
事項・資料	議 題 / 決 定 ・ 検 討 事 項
【来賓ご挨拶】	<p>平成 30 年度当初予算案及び平成 29 年度補正予算案 (経済産業省 産業機械課 工藤 勉課長補佐)</p> <p>①大学等の研究機関との研究には研究開発費の補助。②地域における連携支援事業。③省エネルギー診断事業補助金。④中小企業・小規模事業者人材対策事業。⑤国内投資加速化。⑥固定資産税の特例の創設。⑦中小企業の賃上げ支援強化。⑧小額原価焼却資産の損金算入の特例。⑨物づくり支援事業等ご説明を頂いた。</p> <p>資料-1 平成 30 年度経済産業省関係 平成 30 年度当初予算案及び平成 29 年度補正予算案のポイント</p> <p>資料-2 経済産業省関係 経営課題に対する支援 (配布用)</p> <p>資料-3 経済産業省関係 平成 29 年度 補正予算案の概要 (PR 資料)</p>
【審議事項】	<p>(1) 予算見通しと来年度事業計画 (各委員会事業計画)</p> <p>1) 2018 年度日本歯車工業会の進め方 (柴野会長)</p> <p>【資料 No. 1】2017 年度は、会員数は微増だが、財政の安定化に課題残しており、引き続き協力をお願いする。2018 年度工業会目標として、「会員目線」で、会員に魅力ある企画を実行する一方、財政の安定的な基盤作りを目指すと共に、組織体制について、</p> <p>①80 周年記念事業実行委員会を昨年度と同じ体制で進める。</p> <p>②技術委員会 (辻委員長) に名称を変更し、研修会、講演会など様々な企画事業のあり方の見直しを行う。</p>

【審議事項】

2) 各委員会の2017年度実施内容報告と2018年度事業計画

(1) 経営研修委員会 (菊地委員長欠席のため事務局報告)

- ・昨年度は、4月オーネックス、6月イワサテック、11月JTEKT、2月寶角ギヤーで経営研修会を実施した。2018年度は、5月18日清和鉄工(決定)、8月、2月(未定)に3回の実施予定。

(2) 規格委員会(植田委員長)

- ・2017年度は規格委員会の従来の問題点が少し表に出てきたが、今後の課題は大きい。2018年度は規格委員会全体の活動のあり方を検討する。

(3) ギヤカレッジ企画・運営委員会(田中委員長)

- ・昨年度はマスター、プロフェッショナルコースとも定員をキープでき、2018年度も3月19日からホームページで募集をかける。

(4) ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会(加納委員長)

- ・昨年度2回開催した。今年度は5月25日開催予定。ギヤカレッジ修了者が対象で約500名であり、参加者は約20名。受講生の範囲を広げる事を検討する。

(5) 技術・企画事業委員会(辻委員長)

- ・2018年度は魅力ある企画事業を進める。

(6) 海外調査・対応委員会(植田委員長)

- ・昨年度は1回海外視察実施。欧州EMOと歯車メーカー2社訪問。今年度は米国IMTS等旅行社の企画で計画中実施。

(7) 広報・渉外委員会(井田委員長)

- ・JGMA Newsを2017年度2回発行。2018年度は4月と2019年1月発行予定。ホームページのリニューアルを予定。

(8) JGMATEプロジェクト(池滝理事)

- ・3月2日機械振興会館(東京)で成果報告会実施。3月14日に応用研(京都)で最終審査会実施し、2年間の補助事業が無事完了した。3月23日応用研(京都)で教育プログラムの報告会。2018年度は装置の実用化、普及と鋼材評価規格原案作成ワーキングと規格化を目指す。

(9) 総務(80周年記念事業) (小原委員長)

- ・昨年度は会費の見直し、内部規定の改訂を行った。2018年度は見直した会費による改訂。黒字を目標とする。

(10) 支部活動

① 東日本支部(小原支部長)

- ・2017年11月に歯車入門勉強会をKHK野田で開催。2018年度も歯車入門勉強会を開催予定。

② 中部支部(松波支部長)

- ・2017年度は中部歯車懇話会と協賛の研修会を行った。

③ 西日本支部(寶角支部長)

- ・昨年度は新春講演会及び賀詞交歓会を行った。2018年度も引き続き賀詞交歓会を行う予定。各委員長と相談して、出来る限り関西で会合を実施する。(例：フォローアップ研修会等)

<p><b>【審議事項】</b></p>	<p>3) 平成 30 年度事業計画・予算集計表</p> <p>【資料 No. 2】 栄野会長及び小原副会長より以下説明あり、1) 項、2) 項と共に承認頂いた。</p> <p>(1) 2018 年度の実業計画書は従来の区分を改め、委員会ごとの区分として、わかり易く編成を替えた。(栄野会長)</p> <p>(2) 平成 30 年度予算集計表 (小原副会長)</p> <p>①風力発電規格委員会解散の残余資金、西日本支部の会費の精算金により、平成 29 年度は約 258 万円の黒字。</p> <p>②2018 年度は会費の改訂年度にあたり、改訂を規定に従い行う。平成 30 年度の会費収入は約 100 万円の増額となる。</p> <p>③80 周年記念事業単独では、支出見通し約 1100 万円、収入約 890 万円、約 200 万円を工業会の前年度正味財産期末残高から充当を考える。</p> <p>④金属性状評価プロジェクトは補助金の採択確認が 4 月以降となるため来年度予算から除外。</p> <p>(2) 平成 30 年度の会費見直し(事務局)</p> <p>・歯車工業会規定(2 年毎改訂)により、30 年度 4 月に会費の見直しを行う。2 年前に減額を行ったが、増額対象会員はしておらず、4 月の会費請求で改訂を行うことで、承認頂いた。</p> <p>(3) 西日本支部新春講演会・預託口座先の変更と今後について (寶角支部長)</p> <p>・歴代支部長が新春講演会の費用として、現在までに約 65 万円を積み建ててきたが、ほとんど動きが無く、今の時点で公平性を考え、今後事務局にて管理することを、新春講演会です承を得たため、工業会に寄付をするという形で処理することを承認頂いた。</p> <p>(4) 新会員の承認及び新会員勧誘状況</p> <p>【資料 No. 3】平成 29 年度会員動静としては、新会員 7 社入会 1 社退会、期末見込みで会員合計 122 社。今後も新規会員の入会勧誘を継続し、125 社を目標としたい。</p> <p>【資料 No. 4、5】新会員の承認 (事務局)</p> <p>1) 新潟歯車株式会社(正会員)(ご紹介者)株式会社日立ニコトランスミッション栄野隆顧問</p> <p>2) ヤマザキマザック株式会社(賛助会員)(ご紹介者) 日本歯車工業会事務局 石川正人</p>
<p><b>【協議・報告事項】</b></p>	<p>(1) 創立 80 周年記念事業進捗状況報告</p> <p>1) 日本歯車工業会 80 周年記念事業の件 (栄野会長)</p> <p>【資料 No. 6、6-1】 主旨説明及び 80 周年事業功労表彰の工業界としての経緯を説明した。80 周年記念事業の件は 2017 年 7 月の理事会で提案、承認され、同年秋に実行委員会を立ち上げ、以下 4 事業を行う。</p> <p>①歯車製造便覧を平成 30 年度に発刊予定。 ②功労企業、個人功労者表彰</p> <p>③記念式典の開催 平成 30 年 11 月 9 日。理事の方から会員企業の方に周知徹底をお願いする。</p> <p>④会報記念号の発行 式典開催の 11 月 9 日に、記念号を発行し、持ち帰っていただく。</p> <p>【資料 No. 7】 80 周年記念事業実行委員会体制表</p> <p>【資料 No. 8】 80 周年事業スケジュールで記念事業を進める。この機会に賀詞交歓会などに遠方等でないかな参加頂けていない会員企業の皆様に参加いただきたい。</p>

**【協議報告・  
事項】**

- ・他の工業会も記念誌なども発行されている。表彰も経産省でも審査を行っている。(工藤課長補佐)
- ・広く参加会員企業に感謝状を出したい。経産省の表彰もいただける方を人選したい。4月の理事会で表彰委員会を開くので、経産省からもご出席をお願いしたい。規則を決めてどんな人や企業が相応しいか、好き嫌いでなく歯車工業会に貢献している人は多くおられるので推薦したい。(寶角支部長)
- ・歯車工業会の規格の取り組みをこの機会に機械工業会等にアピールして賛助会員位は勧められるのでは。(吉岡理事)
- ・式典で詳細に話すのは向いていないが取り組みを出すのは絶好の機会ではないか。(植田副会長)
- ・広く身近な工業会を感じていただく式典にしたい。4月のJGMANewsに80周年の記事を載せるべく、広報委員会、井田委員長が検討中。(栄野会長)
- ・歯車製造便覧分科会として、現状はまだ原稿が揃っていない状況なので有浦先生に連絡を入れフォローする。(小原副会長)
- ・有浦先生は非常に熱心に編集作業していただいているが、発行については、小原委員長にお願いしたい。(栄野会長)

【資料 No. 9】 記念式典分科会から、11月9日ホテル雅叙園東京で16時より開催。200人規模で、今年1月予約済み。資料の通り、丸テーブルで前半は表彰等、後半は姉妹のバイオリンデュオ。中身については「出席してよかった」と言われる様な内容にしたいので、皆様の忌憚のないご意見をいただきたい。(植田副会長)

【資料 No. 10】 JGMA News 記念号分科会からは、記念号に掲載するため、会員企業の掲載内容の企業情報提出をお願いします。記念号の紙面の約半分は会員の紹介に充てる。後日、企業情報提出の資料をメールで配信予定。(井田委員長)

**(2) 規格委員会への参加報告(正、副規格委員長)**

- ・前回、前々回の理事会で話が出た。規格関係は工業会の中での予算規模2番目だ。その割に関心が低いので、規格委員会の活動の認知を課題として、取組みたい。工業会は日本のJISの制定・改定の国の委託を受けており、ISOの投票メンバーでもある。規格事業でどのような有り方が良いか考えて行きたい。植田委員長にお願いして、それぞれの委員会の状況報告から始めて、委員長、副委員長がそれぞれの分科会に出て、理事会での報告をもって理事の方々に考えていただく。(栄野会長)
- ・規格委員長になって1年、規格は工業会の根幹、ISOがグローバル化の中で必要、柱である。動きがどうであるか、委員に重複は無いのか、方向性を決めて行く。2018年3月オランダで開催のISOワーキンググループに、その一環で出席する。(植田委員長)

**【協議報告・  
事項】**

- ・ JGMA 歯車規格委員会は、「規格は一日にして成らず」の感あり、精通した方が必要。JGMA 規格集も日本の材料を使用したの解説も有り、ユーザーの身になっている。国際化が進み規格が ISO に倣っていても JGMA との違いを論ずる環境が必要。理事の方に内容をよく知って頂いて、委員の方の重複や各委員会の方向性の統一が必要。（辻副委員長）
- ・ 第1分科会は、かさ歯車の JIS 規格を目指している。会議はもちろんメールでのやり取りも多くなされている。ISO の JIS 化も動きが早くなり、規格のこれからの動向も見極めて、方向性を出す必要がある。委員が他の委員会を知り、複数の分科会が進める内容も重複する面が散見され、交通整理のため理事の方々のご協力を頂きたい。（池滝副委員長）
- ・ 2月の規格委員会に各分科会の長の方に出席いただき今後の計画等お聞きした。今の状況を踏まえて、一緒に今後の規格委員会の組織、体制の在り方、運営方法を考えて、方向性を見つけていきたい。来年度は各委員会に理事の方々にも出席して頂くようお願いしたい。（栄野会長）

**(3) JGMATE プロジェクトについて(JGMATE プロジェクト運営委員会阿部副委員長)**

- ・ 2年間、経産省の補助事業として進めて来たが、今週最終審査が終わり無事合格した。非常に良い結果が出ているので、今後規格化のために「JIS/JGMA 規格原案作成検討委員会」を立ち上げる。（栄野会長）

【資料 No. 13】説明及びこれからも各社の材料を調べて、会員に情報を提供する。教育プログラムも検討中であり、引き続きのご支援をお願いします。（阿部副委員長）

- ・ 購入した製品（中国製歯車）にクレームが発生しこの装置で調査した。不良品との調査結果が出た。今後会員各社の調査分析が出来るのか。歯車材料の規格化はこのハードのみでは難しいのでは。装置の利用をどの様な形にするのが課題。（高橋理事）
- ・ 見えなかったものが見えてきた。課題も見えてきた。原因究明には生材、熱処理後材料等各段階で判明するので、装置をいかに使うかという段階に来た。材料の専門家も参加した規格化の組織を作る。現在、来年度の補助事業（補助金）の申請をしている。4月には判明するので次回の理事会で報告する。（栄野会長）

**(4) 平成 30 年度 事業スケジュール （事務局）**

【資料 No. 11、12】平成 30 年度歯車工業会 年間予定表（案）でほぼ決定。

- ・ 5月18日出雲で総会開催。西日本は会員企業数も多いので今年度は重点的に開催したい。経営研修会を清和鉄工様、そのち総会、翌日「たたら製鉄の博物館」等見学する。今年度の経営研修会は西日本支部長の實角支部長にもご尽力いただいて広島方面も検討している。（栄野会長）

添付資料	<p>資料-1 平成 30 年度経済産業省関係 平成 30 年度当初予算案及び平成 29 年度補正予算案のポイント</p> <p>資料-2 経済産業省関係 経営課題に対する支援 (配布用)</p> <p>資料-3 経済産業省関係 平成 29 年度 補正予算案の概要 (PR 資料)</p> <p>資料 No. 1 2018 年度日本歯車工業会の進め方 (案)</p> <p>資料 No. 2 平成 30 年度事業計画書及び収支予算書並びに予算集計表</p> <p>資料 No. 3 平成 29 年度会員動静</p> <p>資料 No. 4 新潟歯車株式会社 資料 No. 5 ヤマザキマザック株式会社</p> <p>資料 No. 6 日本歯車工業会 80 周年記念事業の件</p> <p>資料 No. 6-1 日本歯車工業会 80 周年事業功労表彰の経緯</p> <p>資料 No. 7 80 周年記念行事組織 (枠組案)</p> <p>資料 No. 8 JGMA80 周年事業スケジュール</p> <p>資料 No. 9 日本歯車工業会創立 80 周年記念式典会場 ホテル雅叙園東京からのご案内</p> <p>資料 No. 10 日本歯車工業会創立 80 周年記念 記念号の概要</p> <p>資料 No. 11 平成 30 年度 (一社) 日本歯車工業会 年間予定表 (案)</p> <p>資料 No. 12 経営研修会・総会 旅程表 (案)</p> <p>資料 No. 13 次世代鋼材測定・評価手法開発</p>	
次回開催日	平成 30 年度第 1 回理事会	H30. 4. 20 (金) 14:30~17:00 / 東京 : 機械振興会館

以上

平成 30 年 3 月 16 日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 栄野 隆



一般社団法人 日本歯車工業会

監事 小松 滋



監事 矢都木 力

